

特選

古里の母の手植えのゆすら梅だいがわ代替りして伐きられしと聞く

千石 小出 風沙子

車窓には学生時代漢検の会場だった東大の壁

春日 石山 博恵

二回目のオリンピックも観るつもりきてきたえよう足・腰・頭

向丘 三宅 あき子

入選

久しぶりのふきん漂白天日干しぬくもり残る白きをたたむ

向丘 高野 伸子

こがらしに鳩も私も同じ向き背中押されて歩かされゆく

水道 菅井 茂子

夕暮の鏡の中の吾が姿母にも似たり姉にも似たり

水道 高木 マリ

子供みこし車にのせて子らが引く親も手伝ひ掛け声かけて

大塚 加藤 喜雄

月のさす寢床ざに坐たどして辿りゆく遠忌えんきも過ぎし母の記憶すを

千駄木 伊藤 恵津子

大津波忘れようとて忘れぬいまだ遺骨を捜す人みて

小日向 内野 仙也

人の世の温かき心に支えられ九十七歳誕生日迎むかう

西片 松林 利枝

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

浄土まで幾つの眩み雁渡るくら かり

西片 小林 貴美子

痴の妻を倣ひてつつじ手折らむかち なら たお

白山 釵持 四郎

棗熟れ飛弾の少女の長き髪なつめ

小日向 内野 仙也

入選

山归来倒れし菊を持ち上げしさんきらい

向丘 高野 伸子

新涼や洗ひ晒しのははの衣しんりよう ざら きぬ

音羽 森田 幸子

豊の秋なんととりっぱな土踏まずとよ

千駄木 丸岡 正児

天窓に見ゆるスイスの大花火

西片 中島 多津子

月光を満たして蒼き涙壺

向丘 三宅 あき子

パリ旅行果たさぬ亡夫や星迎へつま むか

春日 波多江 淑子

中秋の月に我が身を映し観る

春日 岡田 政己